

令和4年度当初予算（案）説明資料

| | | |
|-----|-----------------|---|
| I | 令和4年度当初予算（案）の概要 | 1 |
| II | 令和4年度当初予算（案）総括表 | 2 |
| III | 令和4年度主要事業説明資料 | |
| ① | 広島病院 | 3 |
| ② | 安芸津病院 | 4 |

病院事業局

I 令和4年度当初予算（案）の概要

当初予算のポイント

1 基本的な考え方

今後の医療需要の増大・高度化を見据えた社会保障制度改革等の環境変化に適切に対応していくとともに、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の影響による厳しい医療環境の下でも、県立病院としての役割を果たしていくため、医療機能や経営基盤の強化に取り組むとともに、新型コロナ患者の受入体制の整備に努める。

2 予算概要

(1) 予算規模

| | |
|---------|---------------------------|
| ○病院事業会計 | 316億円（対前年度比：△1.0%，△3.1億円） |
| 広島病院 | 290億円（構成比：91.8%） |
| 安芸津病院 | 26億円（構成比：8.2%） |

※病院事業会計の総額は、企業会計（収益的支出、資本的支出）の合計

| | |
|-------|--------------------------|
| ○一般会計 | 25億円（対前年度比：+1.4%，+0.3億円） |
|-------|--------------------------|

(2) 病院事業会計の収支見込

引き続き、医療機能の強化を図るとともに、感染症指定医療機関や地域の医療機関との協力の下、新型コロナ対応も実施し、経常収支の黒字を確保する。

| | |
|-------|-----------------------------|
| ○経常収支 | 0.4億円（対前年度比：△96.8%，△13.3億円） |
|-------|-----------------------------|

3 主要事業

第6次広島県病院事業経営計画（H29～R4年度）〔期間延長〕に基づき、重点的取組を実施（詳細については、広島病院⇒P3，安芸津病院⇒P4）

○広島病院

- ①がん医療を含めた高度医療の強化
- ②新型コロナウイルス感染症への対応
- ③医療の質と患者満足度の向上

○安芸津病院

- ①災害対策の強化
- ②地域との連携
- ③新型コロナウイルス感染症への対応
- ④医療の質と患者満足度の向上

Ⅱ 令和4年度当初予算（案）総括表

（1）病院事業会計

（単位：千円，％）

| 区 分 | 令和3年度 当初予算額 ① | 令和4年度 当初予算額 ② | 比 較 | | 備 考 | |
|-------------------------|---------------------|---------------------|-------------------|----------------|-------------------------------------|----------------------------|
| | | | ②-① | ②/① | | |
| 病院事業収益 a | 28,572,148 | 28,181,480 | △390,668 | 98.6 | | |
| 内 訳 | 医業収益 b | 23,084,919 | 24,119,476 | 1,034,557 | 104.5 | |
| | うち入院収益 | 15,764,655 | 16,108,974 | 344,319 | 102.2 | 診療単価の増 |
| | うち外来収益 | 6,634,949 | 7,349,205 | 714,256 | 110.8 | 患者数の増 |
| | 医業外収益 c | 5,457,229 | 4,032,004 | △1,425,225 | 73.9 | ※病床確保補助金 1,871,790 含む |
| | 特別利益 d | 30,000 | 30,000 | 0 | 100.0 | |
| 病院事業費用 e | 27,224,154 | 28,159,159 | 935,005 | 103.4 | | |
| 内 訳 | 医業費用 f | 26,708,016 | 27,649,123 | 941,107 | 103.5 | 給与費+175,873 材料費+471,898 |
| | 医業外費用 g | 461,295 | 457,986 | △3,309 | 99.3 | 企業債等利息△41,628 |
| | 特別損失 h | 54,843 | 52,050 | △2,793 | 94.9 | |
| 医業収支 (b-f) | △3,623,097 | △3,529,647 | 93,450 | 97.4 | | |
| 医業外収支 (c-g) | 4,995,934 | 3,574,018 | △1,421,916 | 71.5 | | |
| 経常収支 (b+c)-(f+g) | 1,372,837 | 44,371 | △1,328,466 | 3.2 | | |
| 収支差 (a-e) | 1,347,994 | 22,321 | △1,325,673 | 1.7 | | |
| 資 本 的 収 支 | 資本的収入 i | 2,935,931 | 1,915,141 | △1,020,790 | 65.2 | 企業債△899,600 |
| | 資本的支出 j | 4,694,401 | 3,449,674 | △1,244,727 | 73.5 | |
| | うち建設改良費 | 2,099,841 | 1,206,663 | △893,178 | 57.5 | |
| | 収支差 (i-j) | △1,758,470 | △1,534,533 | 223,937 | 87.3 | |
| 支出予算額計 (e+j) | 31,918,555 | 31,608,833 | △309,722 | 99.0 | 広 島: 29,028,350 安 芸 津: 2,580,483 | |

（2）一般会計

（単位：千円，％）

| 区 分 | 令和3年度 当初予算額 ① | 令和4年度 当初予算額 ② | 比 較 | | 備 考 |
|-----------------|---------------------|---------------------|---------------|--------------|-----|
| | | | ②-① | ②/① | |
| 衛生費 | 2,435,150 | 2,468,999 | 33,849 | 101.4 | |
| 病院事業会計への 繰出金 | 2,435,150 | 2,468,999 | 33,849 | 101.4 | |

Ⅲ 令和4年度主要事業

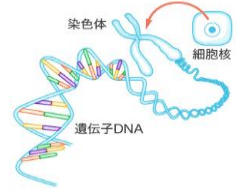
① 広島病院の重点的取組

広島病院は、地域の医療機関との連携の下、患者や地域に選ばれる高度急性期機能の役割を強化していくとともに、公立病院が担うべき救急医療などの基幹的役割を引き続き発揮する。

1 がん医療を含めた高度医療の強化

➤ がん遺伝子診療機能の強化

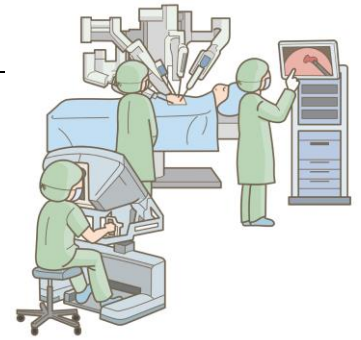
- ・がんゲノム医療中核拠点病院と連携して検査等を行なう「がんゲノム医療連携病院」の指定（H30.3）を受け、遺伝子情報に関する検査を実施（H30.7～）
- ・ゲノム診療科（仮称）の設置によるがんゲノム医療提供体制の強化（R4 予定）



- ◆ 遺伝カウンセリング R2：54件，R3見込：84件（※健康保険対象分）
- ◆ がん遺伝子パネル検査 R2：55件，R3見込：65件（※健康保険対象分）

➤ 医療機器の更新，導入による高度医療の強化

- ・老朽化が進んでいる高精度放射線治療システム（リニアック）の更新により、がん診療連携拠点病院として、放射線治療に係る診療機能を維持，強化（R4 完成予定）
- ・手術支援ロボットの新規導入による手術の高度化及び安全性の向上（R3.9 導入）



2 新型コロナウイルス感染症への対応

➤ 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症重点医療機関として県内最大数の病床を確保し、重症を含む中等症以上の患者を中心とした入院患者の受け入れを積極的に実施

- ◆ 受入患者数 R2：延 4,005 人（うち中等症以上 1,719 人）
R3.4～11：延 4,787 人（うち中等症以上 2,663 人）

3 医療の質と患者満足度の向上

➤ 周術期管理センター（仮称）の設置（R4 新設予定）

入退院関連業務を集約した患者総合支援センターによる患者、家族の入退院に関する相談等のワンストップ支援を継続することに加え、新たに周術期管理センター（仮称）を併設し、手術患者の課題について入院前から多職種で支援することにより、術後の早期回復・退院を目指す。

② 安芸津病院の重点的取組

安芸津病院は、高齢化や人口減少の進展により、医療需要の縮小が見込まれる安芸津地区における唯一の入院機能や、急性期から回復期、あるいはかかりつけまでの総合的な機能を有する強みを活かし、地域と一体となった予防医療を含めた地域包括ケアシステムの質の向上に積極的に貢献する。

注) 安芸津地区・・・安芸津病院の診療圏（旧安芸津町，旧安浦町，竹原市，大崎上島町）

1 災害対策の強化

➤ 耐震化対応に向けた検討

人口推計や医療需要予測等を踏まえ、旧棟（S49～）の耐震化対応の具体化に係る構想・計画を策定（R3～4）

2 地域との連携

➤ 介護施設等との連携強化

- ・地域の介護施設等との連携強化を図ることで、地域包括ケアシステムの質の向上に貢献
- ・認定看護師による他病院や介護施設等への感染症予防対策や認知症対策等の指導を実施し、地域の医療・介護機能を向上

◆訪問看護実施数 R2：2,044 枠，R3 見込：2,105 枠

➤ 地域包括ケア病床（急性期後のリハビリ，在宅復帰に向けた支援）の拡充

長期入院ニーズに対応し、平成 29 年度に 21 床から 29 床に 8 床増床、令和 4 年度以降、更なる増床を予定

◆地域包括ケア病床稼働率 R2：89.7%，R3 見込：58.1%*

（※新型コロナウイルス感染症患者の受入期間中、地域包括ケア病床を閉鎖）

3 新型コロナウイルス感染症への対応

➤ 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・個別接種医療機関として、地域住民に対しワクチン接種を実施
- ・発熱などの症状がある患者の診療を行う発熱外来を設置
- ・新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関として入院患者の受入を実施（R3.4～11 延 175 人）

4 医療の質と患者満足度の向上

➤ 新たな外来の取組

外科の専門外来として、「乳腺専門外来」を新たに開始（R3.4～）

◆乳腺専門外来受診患者数 R3.4～11：88 人